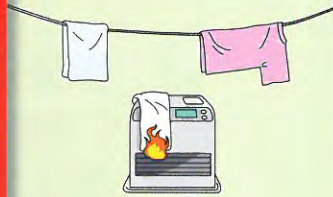




# あんしん 防火 ライフ

住宅防火⑤つのポイント



住宅防火対策推進協議会

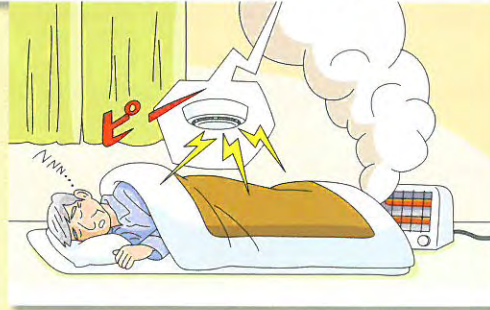
おぼえておきたい  
⑤つのポイント



**1** 住宅火災による、  
死亡原因のトップは  
タバコです。▶P.2



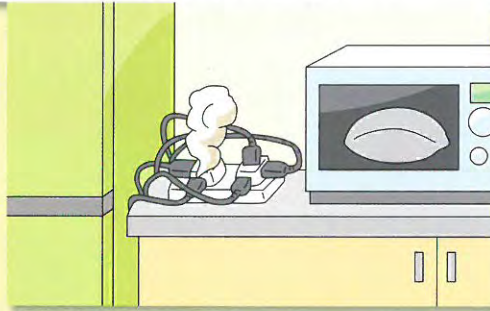
**2** 電気ストーブの  
火災も  
増えています。▶P.3



**3** 衣服に燃え移る  
「着衣着火」が  
増えています。▶P.4



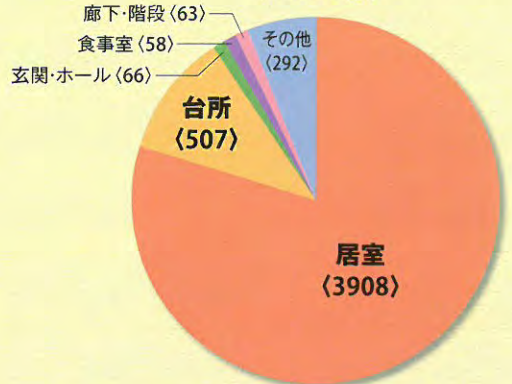
**4** 電気器具やコード・  
コンセントからの出火が  
増えています。▶P.5



**5** 夜、人目に  
つきにくい場所が  
狙われています。▶P.6



死者の発生した住宅火災の主な出火箇所  
(4894件)



※総務省消防庁調べ(平成21年~平成25年) ※出火箇所不明を除く



住宅火災による、死亡原因の  
トップはタバコです。

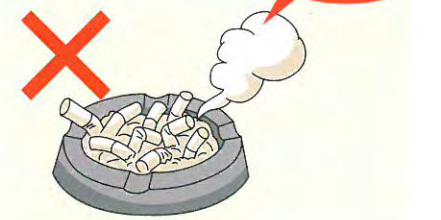


タバコ火災予防のポイント

**1** 寝タバコは  
しない



**2** 灰皿はいつも  
きれいに



**3** 吸い殻は一度水に  
さらしてから捨てる



**4** いつも決まった場所で  
吸う



タバコ

タバコのヒヤリ事例

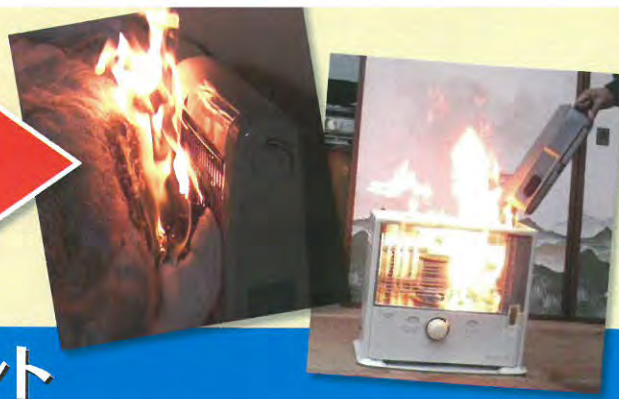


ひとり暮らしの男性が、  
朝、寝床で喫煙。その  
後、用事で出かけて...



ヒヤリ!  
昼頃に戻ると、畳んだ布団が  
くすぶっていて、あやうく火事  
になる所でした。小さな火  
種が落ちていたんですね。

電気ストーブの火災も  
増えています。



衣服に燃え移る  
「着衣着火」が増えています。



ストーブ火災予防のポイント

コンロ火災予防のポイント

ストーブ

コンロ

- 1 外出時や寝る時は必ず火を消す
- 2 洗濯物の乾燥に使わない
- 3 衣類や寝具・カーテンから離して使う
- 4 給油時は必ず火を消す

もし衣服に火がついたら

- 1 離れる時は火を消す
- 2 周囲に燃えやすいものを置かない
- 3 換気扇やグリルをいつもきれいに

→ ストーブのヒヤリ事例

ヒヤリ!

電気ストーブの側で新聞を読んでいた夫は、ひざ掛けがストーブに接触しているのに気づきませんでした。

煙が始めてやっとな気がつき、火事にはなりませんでしたが…。

→ コンロのヒヤリ事例

ヒヤリ!

朝、80歳の母が調理を手伝っていたのですが…

鍋をコンロから下そうとして、パジャマの袖口に火がつき、もう少しで大やけどするところでした。

電気器具やコード・コンセントからの出火が増えています。



夜、人目につきにくい場所を狙われています。



## 電気コード・コンセント等の火災予防のポイント

## 放火対策のポイント

電気コード・プラグ等

放火

**1** タコ足配線をしない

**2** コードの上に重いものをのせない

**3** プラグを抜く時はコードを引っ張らない

**4** コードを束ねて使わない

放火対策として防災品に替える

**1** ゴミは必ずゴミ収集日に出す

**2** 家のまわりに燃えやすいものを置かない

**3** 門扉・車庫・物置は施錠する

電気コードのヒヤリ事例

昼食を温めようと、電子レンジと炊飯器を同時に使ったところ…

ヒヤリ!

タコ足配線になっていた延長コードがショートを起こして火花が出ました。危なかった。

放火対策の事例

ゴミ置き場やバイクカバーに火をつける連続放火が発生していました。

地区で協力して、夜回りを実施し、センサーライトも増やすなどの放火対策をしています。

# 住宅用の防火グッズ



## 早く見つける

### ■住宅用火災警報器

火災で発生する煙や熱を感知して、警報音や音声で知らせます。設置後10年を目安に交換をお勧めしています。



## 燃え広がらない

### ■防災品

火が接しても着火しにくく、燃え広がるのを防ぎます。エプロン、カーテン、寝具類、車両カバーなどがあります。



## 早く消す

### ■住宅用消火器

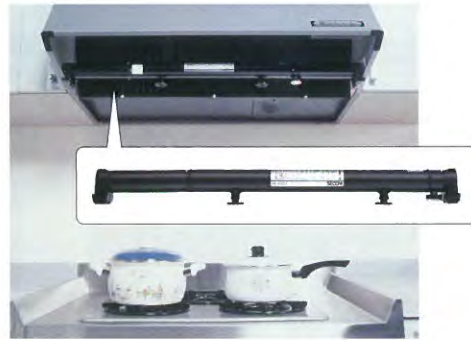
住宅用に開発された消火器です。色々なカラーがあり、玄関などに置くことをお勧めしています。



## 自動的に消す

### ■コンロ用自動消火装置

天ぷら油などのコンロ火災で自動的に消火薬剤を放射し、消火します。



## 自動的に消す

### ■住宅用スプリンクラー

住宅に適した水道直結型のスプリンクラーです。



## 発生させない

### ■安全性の向上した石油暖房機・ガスコンロ

石油暖房機は2009年に国が定めた安全基準により給油時自動消火装置など様々な安全装備が義務付けられ、安全性が向上しています。ガスコンロには2008年以降全口にSiセンサーが装備され、てんぷら油(調理油)過熱防止装置や立ち消え安全装置などの安全装置が標準で付いています。古い石油暖房機やコンロは安全のためにも早目に交換しましょう。



住宅防火対策推進協議会 事務局:(一財)日本防火・危機管理促進協会

TEL.03-3593-2823 FAX.03-3593-2832 <http://www.jubo.go.jp>